

開設以前の

TAP Hospitality Lab®(THL)

の先進テクノロジーを一足先に体験



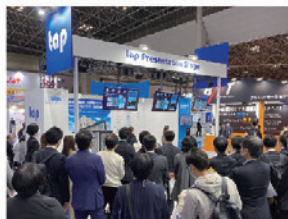
THL関連の展示は、宿泊業の未来像を予感させる場となった。

タップのメイン展示は、沖縄IT津梁パーク内に開設する実証実験施設「TAP Hospitality Lab®(THL)」のデモンストレーションとなる。沖縄IT津梁パークは、沖縄県が国内外の情報通信関連産業の一大拠点を構築するためのビッグプロジェクトで、沖縄にデータセンターや開発拠点を持つタップも参画。2023年6月末予定の開設に向けて準備を進めている。セルフとシェアの時代では、ゲストがスマホなど自分の端末で、ホテルステイを自分自身で操作する「マイホテル・マイオペレーション」が、タップのグランドデザインである。

このTHLは、宿泊業界の生産性向上や顧客満足度の向上のため、ロボットをはじめとする最新テクノロジーを宿泊施設に導入するために、タップが核となって様々な企業の製品の検証実験を行なう。

予約から、滞在中のホテルライフ、チェックアウト・清算までワンストップで完結する近未来の旅行を実現。タップPMSのプラットフォームである「スマートPMS®(tapAppl)」で宿泊施設での滞在はもちろん、地域観光や交通などを結びつける「エリアPMS」を目指している。「スマホによる事前チェックインから客室キー発行、チェックアウトから決済、レストランやルームサービスのオーダーなどをワンストップで体験していただく予定である。ルームサービスについては、音声によるオーダーでロボットがドリンクや備品の搬送を行うデモを実施。

THL関連の展示は、宿泊業の未来像を予感させる場となった。



今回協賛いただいた各企業様のtapApplと連携したソリューション

- 株式会社日立製作所
多言語同時翻訳「SmallLingual」、バーチャルオペレータ「AMELIA」
- Heliohas Robotics Inc.
各種ロボット：ルームサービス、消臭、消毒、案内
- 三菱電機株式会社
アテンドロボット（カードキー発行）
- TradFit株式会社
AIスピーカ
- パナソニック株式会社
ファシリティマネジメントシステム、顔認証システム
- ジョルダン株式会社
MaaS 乗換案内、予約
- シャープ株式会社
ロボホン
- 株式会社アッサアブロイ グローバルソリューションズ ジャパン
ルームキー QRコード開錠
- SBペイメントサービス株式会社
キャッシュレス決済端末
- オムロンソーシアルソリューションズ株式会社
ファシリティログ、自動チェックイン機
- 日本NCRビジネスソリューション
自動チェックイン機

フード機器の専門メーカー「GALILEI」がHACCPの導入をサポート



フクシマガリレイは1951年の創業以来、業務用冷凍冷蔵庫や冷凍冷蔵ショーケースを中心に冷やす技術を進化させ、食のインフラを支え続けてきました。2019年にはフードビジネスのリーディングカンパニーとしてさらなる高みを目指し、社名と本社(大阪)を一新。新本社には、オープンイノベーション拠点「MLAB(ミラボ)」を設置し、機器選定からメニュー開発、製品試験、セミナーなど様々な形で食ビジネスをサポートします。

今回ご紹介する「HACCP ExAround(エクスアラウンド)」は、当社が長年積み重ねてきた温度管理技術を活かして、人手をかせずにより徹底したHACCP管理の実施をサポートするクラウドサービスです。

お客様の使用用途に合わせて、「衛生管理プラン」と「温度管理プラン」の2つをご用意しました。

ガリレイでは、お客様の状況に合わせてHACCPコーディネーターによる最適なプランをご提案いたします。

GALILEI
フクシマガリレイ株式会社

フクシマガリレイ株式会社
〒555-0011 大阪府大阪市西淀川区竹島2-6-18
TEL : 06-6477-2011 FAX : 06-6477-0755 URL : <https://www.galilei.co.jp/>

MLABには、様々な機器・システムを取り揃えた《キッチン》、食品工場等で大量生産を行う《食品工場研究室》、おいしさ・安全性・栄養価の分析などを科学的に検証・評価する《食品研究室》などがあります

業務効率と売上の向上を目指す！ レベニューマネジメントの標準化を実現「メトロエンジン」

メトロエンジンは、多くの宿泊施設が抱える「人手不足」や「業務の効率化」、「売上の向上」といった課題に応えるべく、客室価格の設定業務をサポートする「メトロエンジン」を中心に、宿泊事業者向けITサービスの展示を行います。

中でも、ビックデータから人工知能・機械学習を活用し、需要に応じた客室単価の算出・設定を行う「メトロエンジン レベニューマネジメント」では、レベニューマネジメントに必要な業務を一括管理し、属人化しがちな料金設定を標準化できるとあって、より効率的な経営を実現。国内有数のホテルチェーンに提供を行っており、その一部では、実際に導入後の作業時間を83%削減したという成果も出ております。また、宿泊施設の収入面に直結する料金コントロールの最適化を実現できるため、売上向上にも貢献しています。



他にも、競合価格調査・イベント調査・ロコミ管理ができる「ベーシックプラン」「リサーチプラン」を提供し、宿泊施設の調査業務をサポート。

今後も宿泊業界におけるDXの推進や集客の強化を支援し、事業運営の可能性を広げる一助となることを目指してまいります。

metro engines

メトロエンジン株式会社
〒555-0011 東京都品川区西五反田七丁目25番5号西五反田七丁目ビル9階
TEL : 03-6822-3919
URL : <https://info.metroengines.jp/> E-mail : sales@metroengines.jp

「環境貢献」、「省力化」、「実感価値」の3つを基軸に「新しいカタチ」を提案

① SDGs (環境貢献)

SDGs への取り組みなど環境配慮の観点が事業に大きく影響される今、お客様である宿泊施設がサステナブルなおもてなしを実現できるよう、環境貢献できる商品をご提案します。

3R+Renewableに対応したアメニティをはじめ、環境配慮型インバス、新商品の展示を予定しています。

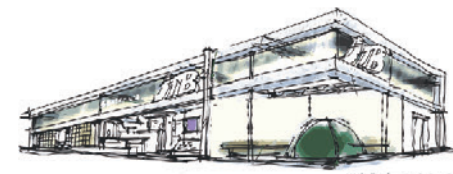
③ アフターコロナ (実感価値)

宿泊施設のコンセプトに共感する宿泊者をターゲットとしたライフスタイルホテルが躍進しています。

「顧客体験の提供」として、マインドフルネスが体験できるイベントの紹介やライフスタイルをテーマとした客室の展示など、多様化する宿泊者のニーズに対応し、実感価値となるサービス提供の展示を予定しています。

② DX (省力化)

コロナ禍によりホテルスタッフの離職率が上がり、オペレーションスタッフの人員不足が問題視されており、省人化を目的とした配膳ロボットや自動チェックイン機、TVインフォメーションシステムなどのDX化を図る商品の展示を予定しています。



※出典 ブースイメージ

株式会社JTB商事 営業企画部 企画課
東京都中野区本町2-46-1 中野坂上サンプライトツイン13階
TEL : 03-6832-4710 URL : <https://www.jtbtrading.co.jp/>

ホテル・旅館業で最も効果的な「DX化」のポイントと事例

■人がやる作業を分解すると「DX化」が見えてくる

ホテル・旅館の「接客」構造は、主に「作業ベース」と「意識ベース」に2分可能。ここでポイントになるのが、「作業ベース」と「意識ベース」の意味を理解して、しっかり区別してお客様に対応することです。(図参照)

事例① ホテル内レストランのセルフ化とPMSとの連携

館内の大型レストランにタブレット端末を導入。目的は、追加ドリンクなどのオーダーを取りに行く人件費の削減。逆にお客様へのサービスに割く時間が増加。また、お客様ごとのオーダー内容や追加料金などもデータ化。PMSとデータ連携。人件費の大幅削減、伝票間違いもなくなります。



事例② ロボットがバックヤードで活躍

ホテル内の厨房間での料理の受け渡しや食器の下げをロボットで実施。ポイントは配膳ロボットのマッピングが簡単なこと。会場レイアウトが変わることが常の宴会場でも効果を発揮。



■セルフ化すると「意識ベース」しか要らなくなる

人材育成の難しさは「笑顔は良いけど、仕事か？」とか「感じ良いけど、仕事か？」など「作業ベース」と「意識ベース」の両方を求めるところ。セルフ化してスタッフを「意識ベース」に集中させれば、お客様が受ける印象は格段に向上します。

事例③ 部屋のタブレットで注文、PMSと連携

「部屋食」目的のお客様も多い中、部屋ごとのタッチパネルでメニューを注文することで省人化に大きく貢献。館内情報や近隣の観光案内などを動画で見せることも可能。



株式会社アルファクス・フード・システム
〒756-0039 山口県山陽小野田市千崎128番地
TEL : 0836-39-5151 (代) URL : <https://www.afs.co.jp/>
担当/并手 : ide@afs.co.jp

ALFAFXS CO. LTD.